

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年12月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4077500094
法人名	医療法人おさしお会
事業所名	グループホーム きらら
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町麓3766番地1 (電話) 0994-58-5859
自己評価作成日	令和3年11月11日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年12月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・当ホームはきらら理念「この住み慣れた吾平の地で同じ思いで、あなたの生活を
支え教えていただく事を大切に過ごして下さい」をもとに利用者様に安心して穏や
かに過ごしていただけるように、優しい声掛け、お話をしっかり傾聴すると言うこ
とを心がけて日々ケアに努めています。
それに加えて、隣接する老人保健施設、通所リハビリテーション、認知症対応型通
所介護の色々な専門職から助言を頂き、利用者様の状態や変化や意向によるサービ
ス方法を考え対応できる環境にあります。体調管理では定時のバイタル測定、訪室
の確認を行い利用者様の体調の変化に早期に対応できるように努め、月2回の訪問
診療などで、主治医、看護師との連携を図っています。
行事などでは今コロナの影響もあり外出も難しいなかで利用者様が少しでも楽しん
でいただけるようにスタッフが考えレクリエーションやバイキングなどを行っていま
す。
地域交流でもコロナの影響があり文化祭なども中止にな地域活動も少なくなってい
ますが、毎年文化祭に出店していた物を変わず作成しています。地域運営推進会
議でも今は書面開催になっていますが、資料を送り助言や意見をいただしていま
す。利用者様がこれからも住み慣れた地域で穏やかに過ごせるようにスタッフも
しっかり寄り添っていきたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の食べたいものを聞き取り、参考にしながらメニューを決め、配膳下膳や
もやしの根切り等、調理の下ごしらえに利用者の手伝いをもらい、利用者と同じメ
ニューの食事を職員も食べている。コロナ禍で外出に出かけることを控えている代
わりに、行事の際はお弁当を取ったり、季節が感じられるメニューを工夫し提供し
ている。管理者が調理師の資格を持っているため、管理者が調理担当の日は、天ぷ
らや茶碗蒸し等が食卓に上がったり、おせち料理や卵で巻いた恵方巻を提供する
等、利用者・職員の楽しみにもなっている。
年2回消防署立ち合いの下での災害訓練を実施すると共に、同敷地内に隣接する
老人保健施設の災害訓練にも参加している。また、火災時の火元の確認や消火活
動、通報手順、避難誘導訓練等の自主訓練を毎月実施することで、いざという時に
慌てないですむよう備えている。日頃より居宅のケアマネージャーとも連携を取
り、台風等の災害時に近隣の方を受け入れる体制を整えている。
職員が取り組むケアは理念が基本であるため、玄関とホールの目に付くところに
掲示し意識の向上を図っている。特に理念にある「同じ想いで」という言葉を十分
理解し、行動できれば、認知症についての理解や利用者一人ひとりの思いを汲み取
れると管理者は考えている。また日常の仕事を業務としてではなく、ケアとして優
しい声掛けや関る事が大切である考え、ケアの質の向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の共有ということで確認できるところに提示しているがもっと理解を深めていかないといけない。	玄関とホールの目に付くところに理念を掲示し意識付を図っている。管理者は日常の仕事を業務としてではなくケアとして捉え、日々利用者と向き合い接していきたいと考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	奉仕作業や会議には参加に努めているがコロナの影響もあり今は参加できていない。ある程度落ち着いた際は参加を行えるように準備を行う。	コロナ禍で地域行事や保育園、学校行事が中止になっているが事業所が孤立しないよう自治会活動である清掃活動に参加している。散歩途中に庭先や畑で出会った地域の方と挨拶や会話を交わす機会がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の文化祭の中止などもありなかなか難しい状況であるが作品の作成は行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナで書面開催となっている。資料を担当に送り助言などをいただいている。	コロナ禍の現在、書面での運営推進会議を実施している。会の参加者である利用者や家族代表、民生委員、地区班長等に事前に意見を求め会議録にまとめ行政に提出している。コロナ収束後は早々に会を開催したいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市が開催する勉強会に参加。なにかあれば市町村の担当の方と連携を図れるように努めている。	制度改正時の加算の取り扱いについて等、判断に迷う時に市役所に出向いたり電話で助言を求めている。また、集団指導や行政主催の研修にリモート参加したり、福祉事務所や包括支援センターとも連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会などを開き拘束しないケアに取り組んでいる。	法人内に身体拘束委員会を設置すると共に、3か月毎に身体拘束適正化委員会も実施するほか、内部研修では職員全員が研修レポートを作成して管理者や施設長が目を通して話合ったり、言葉による拘束について話し合ったり、離設時の見守り等、身体拘束のない自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	すぐ確認できるように介護虐待の種類や内容を書いてある用紙をスタッフのネームに入れている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	理解が不足している場面もあつたりするので勉強会などを開き活動できるように努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際にしっかり説明を行い理解納得を行う。後日質問などがあればしっかり対応するように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートをを実施して要望、苦情の確認を行い早期に対応できるように努めている。	ケアプラン作成時に利用者や家族の意向を聞くほか、面会に来られた際や年2回家族アンケートにより接遇や施設環境についての意見や要望を尋ねている。また、利用者と家族の関係が疎遠にならないよう担当職員が写真と状況報告書を請求書と一緒に送付し、支払い時に来園してもらうよう促している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	セクション会議などで話しを聞き反映できるように努めている。	朝夕の申し送り時や毎月の職員会議で意見を聞くほか、個別の相談にもその都度話を聞いている。勤務表作成時は休みの希望を3日分まで聞くほか、有給休暇の取得についても勤務体制を考慮しながら対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフがストレスが軽減できるように公休や有休をとりやすい環境に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部の勉強会、外部の勉強会に参加できるように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の管理者やスタッフと電話連絡をしたり小まめに連携を図るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に状態確認やお話を聞くことで、困っていること、不安なことを聞いたり、少しでもきずくことが出来る帳に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にしっかり説明を行い意向などを確認して少しでもご家族の思いをくめるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様やご家族、担当の方から得られた情報を元に、スタッフ間で共有して検討を行うように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	業務に意識が強くなりすぎ、共に過ごすという関係づくり、思いが不足しているので、勉強会などを開きいい関係づくりに努めていかないといけないと思う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナの影響もあり直接的ない面会が難しい状況であるが少しでも家族の絆を大事にできるようにリモートなど環境を整えるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	病院などで外出する際は住み慣れた場所を通ったり、話しをして支援を行っています。	入居前の情報を居宅のケアマネージャーや相談員等から話を聞き取ると共に、入居後も昔話等から馴染みの場所や関係を聞いている。隣接するデイサービスを利用している友人との面会を楽しんだり、電話や手紙の取り次ぎ等も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクレーションなどの声掛け、その際の利用者同士のコミュニケーションの支援をしっかりと行うように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お電話をしたり、相談や不安なことを聞いたり努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中でお話をしたりコミュニケーションをとり意向の確認、把握に努めています。	会話ができる利用者が多いため何をしたいか等の思いや意向を直接訪ねることが多いが、うまく表現できない場合は、日常生活の中で見せる表情や相槌等から思いを把握するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様のお話を聞いたりご家族との話の中で情報収集を行いサービスの利用の際に対応できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントシートを使用したりして有する力の把握、申し送り簿を使用し日々の過ごし方の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様、家族、担当者の方と検討を行い反映できるように努めています。	利用者や家族の意向を基にカンファレンスやモニタリング評価、主治医の意見も参考にしてケアプランを作成している。プランがケアに反映されているかを「ケアプラン実施状況表」に毎日記録し評価まで実施して時期ケアプランにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、介護計画書に記録を行いミーティングや申し送り簿を使用しスタッフの情報共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設の専門職に相談を行ったりして検討を行い、柔軟な対応ができるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	併設事業所の交流会などに参加してすこしでも本人様の力を発揮して楽しく過ごせるように努めていきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医、看護師と連携を図り、月2回の訪問診療時に相談を行い適切な医療を受けられるように努めています。	母体医療機関とは24時間連携が図れるため、現在利用者全員が母体医療機関を主治医とし、月2回の訪問診療を受けている。他科受診については、職員が受診に同行して毎日の様子や状態を医師に伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>定期的なバイタル測定、訪室の際の確認をしっかりと行い変化があれば主治医に連絡を行い適切な受診が行えるように努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院の際は情報提供を作成して担当の方と連絡を行い連携がはかれるように努め、利用者、家族が安心して治療ができるように努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前に重度化の指針を用いてしっかりと説明を行い、見取りは行っていないので併設事業所などへの案内を含め検討しています。</p>	<p>入居時に「重度化対応体制に係る指針」を説明し同意を得ると共に、現在は「新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の本人意思確認書」についても説明する等、重度化した場合の対応の在り方を丁寧に説明している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルをもとに対応できるように努めています。救急搬送に備えて提供カードを作成しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練、併設事業所との合同訓練を行っています。</p>	<p>年2回夜間想定を含む火災訓練を消防署立ち合いの下で実施するほか、毎月消火や通報、避難誘導等の自主訓練を行っている。備蓄は飲料水やレトルト食品等を準備し、備品としてカセットコンロやヘルメット、防災頭巾等を用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会を行い、一人ひとりの人格を尊重し、優しい声掛けや対応に努めています。	誇りやプライバシーを損ねないように声掛けの際は、上から目線にならないよう、また思いをきちんと聞けるよう気を付けている。居室に入室する際は必ずノックし声を掛けてから入室するようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定がしやすいように声掛けを行い対応を行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人様のペースで過ごすことが出来るように検討を行う。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人様の意向を確認しながら支援を行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に感想を聞いたり、季節の食材をメニューに入れたり、お食事が楽しい時間になるように努めていきます。	以前は食材の買い出しにも一緒に行っていたが、現在はもやしの根切りや配膳下膳に参加している。利用者の食べたいものをメニューに取り入れ、利用者と職員が同じメニューの食事を食べている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事量の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けを行い口腔内の保清に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的のトイレの声掛けや排泄状況の確認を行い、トイレで排泄できるように努めています。	排泄チェック表の活用と日常の見守りからトイレ誘導につなげている。おむつの方も日中はリハビリパンツを使い、トイレでの排泄を基本に支援している。夜間は覚醒状況によりトイレ誘導をパット交換に代える等して対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便確認を行い、しっかり水分を取ってもらったり、運動をしたり便秘の予防に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴日で皆様入浴されています。時には入浴をお断りされることもありその際は時間や入りたいときに入っていたけるように努めています。	冬至にゆず湯を提供するなど入浴が楽しめるよう工夫している。入浴をためらう時は声を掛けるタイミングを見計らい、本人が入りたくなった時に入れるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ホールで眠そうにされていたり疲れている表情が見られる際は声掛けを行い休んでいただいたり、夜間は安心して休んでいただけるように環境を整えています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	しっかりと確認を行い、薬の確認ができるように看護記録に準備している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一緒に掃除をしたり、洗濯をたんだり役割を持ってもらい、レクレーションなど楽しい時間を作れるように努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナで外出は難しい状況です。少しでも外に出て気分転換ができるように天気の良い日など散歩をしたりして対応しています。	コロナ禍のため外出を控えていたが状況が少し落ち着いてきたため、秋にコスモス見物に出かけることができた。屋内ばかりではストレスにつながる恐れがあるため、同敷地内にある老人保健施設周辺の桜見物やひまわり見物に歩いて出かけたり、天候に合わせて散歩を取り入れるなど気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	本人様の意向があればご家族に相談を行い対応しています。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	電話の際はお話がしやすいように環境を整へ、手紙など送られてきた際はしっかり提供させていただいています。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	毎日掃除を行い気持ちがいい環境を整へて少しでも不安がないように検討しています。	ホールは広く、利用者と職員が一緒に作った季節毎の作品を担当する職員が飾り付けており、12月はクリスマスツリーやリースが飾りつけられている。コロナ感染症予防として日常的に換気や加湿に気を配ると共に、消毒も毎日念入りに行っている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	テレビを見やすいように配置したり仲のいい方とお話をしたりして工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様ご家族に相談しながら環境を整えています。	エアコンや電動ベッド、タンスが備え付けられ、きらら1号館には各居室にトイレも備えている。自宅から持ち込まれた仏壇や位牌、テレビ等を自由に配置し、居心地よく過ごしてもらっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人様のペースで過ごせるよう分かりやすい様にトイレや居室に表示しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない